

工法



ジェットスプレー工法は
認定代理店による責任施工となっています

ジェットスプレー
「他・吹付工

— 施工膜厚

工法特許及び商標



【防水舗装工法】
【特許第3965306号】



【建築物における
防水膜施工方法】
【特許第4299202号】



【建築物における
防水膜施工方法】
【特許第4241531号】



【防水膜施工方法および
屋上庭園における
防水膜施工方法】
【特許第4473663号】



【ジェットスプレー工法】



【J·S·C·M工法】

特長

水蒸気透過特性

コンクリート構造物を防水コーティングする場合、湿気をコンクリート構造物内に蓄積させないために適度な水蒸気透過性をもつていなければなりません。

ジェットスプレー工法では他のウレタン防水材やゴムシートに無い水蒸気透過性をもっており、施工後水蒸気による膨れが他の材料に比べて発生しにくい性質をもっています。

塗膜の特性

項目	単位	一般ウレタン防水剤	ジェットスプレー
密度	g/cm ³	1.318	0.974
硬さ	度	71	76
厚さ	mm	1.95	2.0
透湿度	g/m ² 24h	34.5	81.7
透湿係数	g/m ² ·h·mmHg	0.0289	0.159

ジェットスプレー工法



圧縮エアーでのスプレーによって塗膜にエアー層を形成し適度な水蒸気透過性が生まれる(液体は通さず蒸気は通過する)。下地の残留水分によるフクレが発生しにくい。

項目	ジェットスプレー
透湿性(g/m ² 24h)	87.7
透湿係数(g/m ² · h · mmHg)	0.159
試験方法	JIS Z 0280準拠

他スプレー工法



エアレススプレーのため塗膜にエアー層は形成されず、水蒸気透過性は微量。下地の残留水分によるフクレが発生しやすい。

項目	他スプレー工法
透湿性(g/m ² 24h)	41.09
透湿係数(g/m ² · h · mmHg)	0.08
試験方法	JIS Z 0280準拠

〈参考〉手塗りウレタン



ジェットスプレーの仕組み

図1のように、A液・B液はスタティック内部で完全に搅拌混合され、5バルブ調整された圧縮空気でスプレーします。塗膜形成時に、スタティック内で完全搅拌された材料にエアーを含ませることで、物性の高い、呼吸性のある弹性塗膜を実現しました。また、図2のように特殊アタッチメントを圧縮空気が通過することにより、形成された塗膜には、ごく微量で変形したエアー層が生じます。この特殊なエアー層は、さらに高物性のウレタン膜を形成させます。(呼吸性ウレタン)

図1

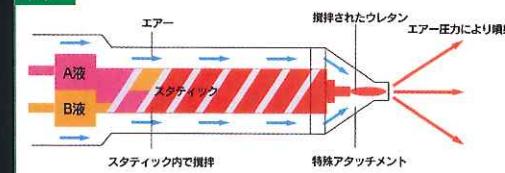


図2

